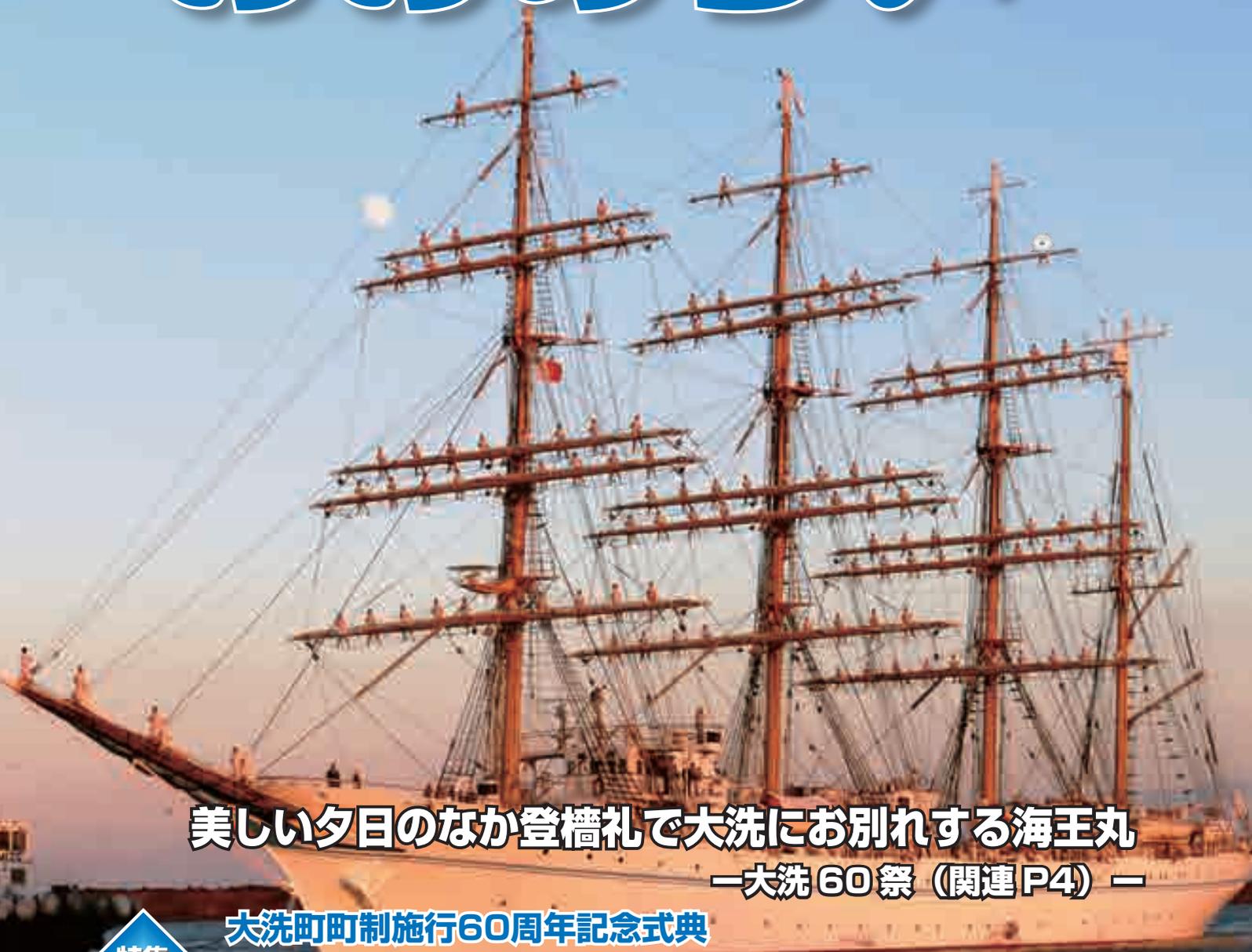


おおあらい Vol.528



美しい夕日のなか登檣礼で大洗にお別れする海王丸

—大洗60祭(関連P4)—



大洗町町制施行60周年記念式典

—大洗港フェリー就航・大洗鹿島線開業30周年— P.2~3



- 大洗町町制60周年記念イベント P.4
- 大洗町まち・ひと・しごと総合戦略を策定しています P.5
- 第40回大洗町芸術文化祭 P.6~7
- 南小学校の校章デザインが決定しました P.8
- 大洗の冬の風物詩:第19回大洗あんどう祭 P.9
- 第14回大洗健康福祉まつり P.10
- 119番の受信場所が変わります P.11
- 大洗農産物まつり P.12
- 情報クリップ P.13~17
- 大洗海の大学/夢town大洗 P.18
- 随想/地域ヨミユミ P.19
- まちのできごと P.20~21
- みんなのひろば P.22~23



2015

平成27年



大洗町町制施行 60 周年記念式典

—大洗港フェリー—就航・大洗鹿島線開業 30 周年—

「記念式典」

10月24日（土）、大洗文化センターにおいて、「大洗町町制施行60周年記念式典—大洗港フェリー—就航・大洗鹿島線開業30周年—」と題した記念式典を、国会議員をはじめ県内市町村長・議長など多くの方々にご来賓として参加いただき開催しました。

町民憲章唱和

開会の言葉、国歌斉唱に続き第一中学校の田中夏也さん、南中学校の吉田瑞葉さんが町民憲章の前文を読み、その後参加者全員で町民憲章を唱和しました。



田中 夏也さん（一中）と吉田 瑞葉さん（南中）

式辞

小谷町長が「小さな町だからこそ、隅々まで心配りの出来る温かい町、子育てしやすい住んでよかったと言える町を目指します。そして、ふるさとを大切に思う町民がいる限り、この大洗町がどこよりも魅力的なまちになることを確信し、小さくともキラリと光るまちとして輝き続けられるように全力を尽くします。」と式辞を述べました。続いて、田山町議会副議長、県知事（代理）、国会議員、田山県議会議員にごあいさつをいただきました。



大洗町表彰



井上 ミツイさん（黄綬褒章）

式典に先立ち、文化センター大会議室において、町功績・功労者36名、豊かな心育成宣言標語・作文コンクール12名に対し表彰式を行いました。

記念式典では、黄綬褒章受章者の井上ミツイさん、特別功績者表彰の加部東正廣さん、特別功労表彰の高木三郎さんに対し、小谷町長から表彰状と記念品が手渡されました。



町表彰のみなさん



高木 三郎さん（特別功労者）



加部東 正廣さん（特別功績者）

大洗町表彰

※敬称略

叙勲褒章受章

● 瑞宝双光章

・ 檜山 桑重

● 黄綬褒章

・ 井上ミツイ

特別功績者表彰

● 地方自治の発展

・ 川原井 勝一

・ 武藤 文一

● 社会福祉の増進

・ 加部東 正廣

・ 江橋 源市

・ 吉澤 彰

・ 櫻井 昭壹

● 保健衛生の向上

・ 高柳 美代子

・ 佐藤 美津枝

・ 関根 早苗

● 産業の振興

・ 大洗町漁業協同組合

● 教育・文化の向上

・ 伊藤 敬子

・ 萩原 純子

・ 米川 美智子

・ 小野瀬 榮子

● スポーツの振興

・ 関根 孝明

● 治安の維持

・ 倉持 栄保

・ 照沼 則幸

・ 高橋 昭正

特別功労賞表彰

● 健康増進功労

・ 永嶋 孝

・ 高木 三郎

● 生活環境保全功労

・ 舟渡4区きれいにする会

● 産業振興功労

・ 鹿島臨海鉄道りんてつ
応援団

・ 大洗みなと賑わい推進会

・ 大洗町漁業研究会

・ 福政丸 小沼 福松

・ 善清丸 川上 和寿

・ 第三宏丸 飛田 正美

● スポーツ功労

・ 磯崎 正

・ 坂本 夏子

・ 安田 伸也

・ 菅谷 惣衛

・ 鶴田 洋寿

・ 海野 好功



豊かな心育成宣言

豊かな心育成宣言標語作文コンクール発表では、大洗小学校の岩城凌空さんが「お礼のあいさつ」という作文を、南中学校の中村羅菜さんが「すれちがい あいさつ交わりて笑顔咲く」という標語を発表しました。



中村 羅菜さん



岩城 凌空さん

！オープレニング セレモニー！

記念式典のオープニングセレモニーでは、エックカートベীগマンさん・大山真理佳さんによる、G・フォーレ作曲の幻想曲ファンタジーOP79の演奏が披露されました。最後に小谷町長が花束を渡し、「お二人は明日が結婚披露宴です」と紹介すると会場からは、祝福の拍手が沸き起こりました。おめでとうございます。



大洗町町制60周年記念イベント

「大洗60祭～町制60周年 未来を拓く“大洗”～」



大洗町町制60周年を記念したイベント「大洗60祭」町制60周年 未来を拓く「大洗」が、独立行政法人航海訓練所運航の大型帆船「海王丸」を招いて、10月24日（土）、25日（日）の2日間、大洗港第4埠頭にて盛大に開催されました。

24日（土）は、海王丸によるセイルドリルが行われ、総帆を張った壮大な雄姿が披露されました。25日（日）は一般公開が行われ、船内や甲板を見学するために長い列ができました。

岸壁では、大洗町にゆかりのあるステージイベントのほか、多数の模擬店やカフェエリー「さんぷらわあ」の船内見学会（24日のみ）などが行われ、多くの人々で賑い大盛況となりました。

25日夕方、海王丸は登檣礼を行い、次の寄港地である大分港に向け出港しました。

登檣礼とは、実習生が舳先やヤードの上に登って見送りをする帆船の最高儀礼。



バルーンリリースの様子



ステージイベント



友好都市等の観光PR



多くの来場者で賑わう会場



海王丸一般公開への長い列



登檣礼の様子

大洗町まち・ひと・しごと総合戦略を策定しています。

まち・ひと・しごと総合戦略とは？

我が国における急速な少子高齢化の進展に的確に対応するため、平成26年11月28日に「まち・ひと・しごと創生法」が公布されました。この計画は、将来にわたって活力ある地域を維持するため、同法に基づき、大洗町としての将来の人口の見通しや人口減少を抑制する施策等を示す計画です。

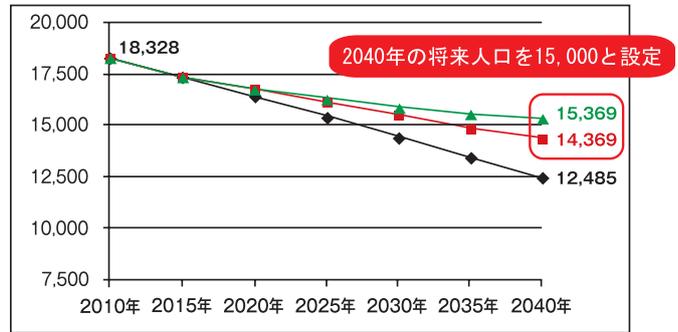
将来の大洗町の人口は？

大洗町の人口は減少傾向にあり、平成22年の国勢調査では18,328人となっています。国立社会保障人口問題研究所の推計では、このままの傾向が続くと、2040年(平成52年)には、12,485人まで減少すると予想されています。

大洗町人口ビジョン

大洗町人口ビジョンでは、3つのケースを想定し人口推計を行い、2040年(平成52年)の将来人口を15,000人と設定しました。

- ケース① 現在のまま人口減少が続いた場合。
(社会保障人口問題研究所の推計)
- ケース② 2020年までに転入・転出者数が均衡し、2040年までに出生率が2.0になった場合
- ケース③ 2020年までに転入・転出者数が均衡し、2040年までに出生率が2.0になり、更に5年間で30人の転入者が見られる場合



町民や有識者の意見を伺い策定しています

大洗町まち・ひと・しごと創生有識者会議

町議会代表、住民代表、産業界、大学、金融機関、労働団体、報道機関等、大洗町に関わる多様な主体による会議を設置し、人口ビジョンについて様々な立場からのご意見を頂き計画を策定しています。

意向調査・ヒアリングの実施

- 意向調査
住民基本台帳等から無作為に抽出した町民1,790人、事業所・事業主230事業所に対し、意向調査を実施しました。
- ヒアリング
子育て層や中学生、若手の農業・商業分野の方等にヒアリングを実施しました。

大洗町総合戦略

総合戦略では、人口ビジョンで示した2040年の人口確保に向け、「まち・ひと・しごと創生」政策5原則(①自立性、②将来性、③地域性、④直接性、⑤結果重視)を踏まえつつ、本町の特徴を踏まえた独自性のある取り組みを進めるため、次の3つの視点を設定し、これに基づき4つの基本目標を示しました。

- 視点-1 若年層をターゲットに、「住居」・「子育て」・「安心」をパッケージで提供する。
- 視点-2 先進性と地域性のある産業を育成し、町内での多様な雇用を確保する。
- 視点-3 地域や家庭の持つ「ちから」を生かした暮らしを提供する。

基本目標1 大洗町に“しごと”をつくり、安定した雇用を創出する

本町の基幹産業である水産業や水産加工業、先端技術による新産業など成果に繋がる力強い地域産業の競争力強化に取り組みます。また、雇用の量だけでなく、魅力ある職場づくりや労働市場環境の整備に取り組み、正規雇用等の割合の増加、女性の就業率の向上等、夫婦が余裕をもって子育てができるよう、労働市場の質の向上に取り組みます。

基本目標2 大洗町への新しい人の流れをつくる

「しごと」と「ひと」の好循環を確立するためには、雇用機会の確保とともに、大洗町に興味・関心を持つ移住・定住希望者の創出と、受け皿となる居住環境の整備が不可欠です。そのため、本町の魅力を体験する機会を創出し、社会的二スズに対応した新たな居住環境づくりを進めるとともに、これらの情報発信を積極的に展開していきます。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若年層の結婚や出産・子育てを支援するため、子育てにおける経済的支援の充実を図るとともに、結婚や子育てに対して有する不安の解消に取り組みます。また、他の地域では実現できない独自の教育プログラムの充実に取り組み、「子育てするなら大洗」という子育てブランドの創出を目指します。
教育、医療、購買等においては隣接市の施設・店舗等を利用することにより、生活環境面での利便性は確保されている点もPRしていきます。

基本目標4 時代にあった地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

人口や産業構造の変化を見据えつつ、「まちの創生」を目指した魅力ある地域づくりを推進するため、伝統・文化資源などの既存ストックを活用するとともに、本町の行政規模だからこそできる、町民と行政が一体となった事業を通じて大洗町への愛着を育む等、将来に向けた地域づくりの礎となる、安心して暮らすことのできる社会環境の創出を図ります。

問合せ／まちづくり推進課(内線213)



授賞式で表彰された皆さん（写真部門撮影）



民謡の発表



高崎市南京玉すだれの発表



恵泉保育園園児による音楽発表



和太鼓の演奏

日本画	入選	海野弘子
洋画	入選	小沼 清
工芸美術	入選	高橋康夫 美ノ邊潔
書	会員	會沢小伯
	会友	會沢伯韻 大貫艸穹
	入選	磯崎松花 海老原悠泉 栗田定硯 関根白峰 関根麗泉 福地伯洋 堀川紫香 八木玉峰 山本毬月
写真	会員	水谷 勉
	会友推挙	桑嶋宣昭
	入選	大久保正隆 飛田 清

(50音順・敬称略)

10月31日（土）～11月15日（日）、茨城県近代美術館及び県民文化センターにおいて茨城県芸術祭美術展覧会が開催され、大洗町から次の方々が入選されました。おめでとうございます。

茨城県芸術祭美術展覧会の入選

南小学校の校章デザインが決定しました

平成 28 年 4 月に、大貫小学校と夏海小学校が統合して、「南小学校」が開校します。
この新たなスタートにあたり、南小学校のシンボルとなる校章デザインが決定しました。

◆校章デザイン決定作品

塚本 京子 さん (大貫小 6 年)
米川 遥海 さん (夏海小 2 年)



◆校章デザイン決定経過

①公募の実施

平成 27 年 5～6 月に募集したところ、たくさんの方々から作品 (91 作品) が寄せられました。

②推薦の実施

統合準備協議会において、基本的な考え方として、「南小学校にふさわしく、地域の特色及び地域への想いが伝わる校章」を推薦することとし、3つの作品を選定し、大洗町に推薦しました。

③校章デザインの決定

大洗町部局において、厳正な最終審査の結果、左のとおり、選ばれた2つのデザイン要素を組み合わせた形で決定されました。

～「南小学校の校章」における説明(願い)～

南小学校の校舎は、太平洋を一望できる高台に位置(現南中学校のグランド側)し、水平線の広がる海辺を望める環境にあります。その環境＝大洗の「波」と「日の出」(塚本京子さんデザイン)、そして、大洗の花「つつじ」と大洗の鳥「かもめ」(米川遥海さんデザイン)の2つのデザイン要素を組合せて構成し、子どもたちも覚えやすく、誰からも親しまれるように、校名を大きく校章の中に入れたデザインです。

この南小学校で、子どもたちが、大きな夢と希望を育てていくことを願います。

閉校事業への取り組み

両校において、閉校記念事業実行委員会を設立して、次のとおり取り組んでおります。

○閉校記念誌

両校において、歴史や伝統を尊重し後世に伝え残すために、「記念誌の作成」に取り組んでおりますので、**ぜひ各学校に申し込みください。**

○閉校記念碑

両校において、記念碑建立に向けて取り組んでいます。

○閉校記念式典

大貫小学校	平成 28 年 3 月 5 日 (土) 午前 9 時	/	大貫小学校体育館
夏海小学校	平成 28 年 2 月 28 日 (日) 午前 9 時	/	夏海小学校体育館



問合せ / 統合準備協議会事務局 (町教育委員会学校教育課内)

☎ 267-5111 (内線 352)